訓練 **弟子たち**

会期 **18: 弟子選び(9a)**

ロン・ライブリー、M.Div.、M.A.による提供 – BiblicalMentoring.org(学問)

ステップ1:開会の祈り

ステップ2: 各人が記憶の節を引用します: ヴァース: **マタイによる福音書 4:19-20**
19 彼は彼らに言った。「わたしについて来なさい。そうすれば、あなたたちを人を漁師にしよう。」
20 彼らはすぐに網を離れ、彼を追った。

ステップ3: *聖書章の全部または一部を読んで議論してください* **– マタイによる福音書4章**

ステップ4: 個人申請やグループディスカッションのための質問:

一. スポーツで適切な選手を選ぶことは、ほとんどの場合勝利につながります。これは弟子訓練にどのように当てはまるのでしょうか?

二. イエスは、ご自身が知っている、従う意志のある弟子の中からのみ、12人の弟子を選んだようです。これが私たちが選んで訓練する者たちにどのように当てはまるか分かりますか?

三. このセッションでは、イエスが弟子を選んで訓練したように、高い基準を設定し、熱心に祈ることを学びます。

四. 弟子の五つの特性について学びます。五つすべてが同じくらい重要かどうかを問いましょう。

五. 弟子の訓練に導かれる際の神の導きは必須であり、心を見ているのが私たちにはできないため、他の資格を考慮すべきだと理解すべきです。

ステップ5:本の内容を読み、議論する:

第9章a、 著者によるキース・フィリップス:

弟子選び

私が子供の頃、近所でサンドロット野球が流行していました。毎週土曜の午後、私たち8人がチームに分かれて、暗くなるまでプレーしていました。週末の成功は、しばしばチームメイトの質によって決まりました。適切な選手を選ぶことが、ほとんどの場合勝利につながりました。弟子となる人を選ぶことが極めて重要です。以下の原則は個人的な経験から生まれたものであり、弟子を選ぶ際に欠かせないものだと私は信じています。

高い基準を掲げましょう

イエスは、従う意志のある者だけから人を漁る者にしました(マタイ4:19)。弟子たちには、必要なら自分の命さえも捨てて彼に従うよう命じました。彼らは神の基準に合う必要がありました。弟子候補を見分けるのに役立つ5つの特徴があります。

1. 神を親密に知りたいと願う

彼の教えの気持ちは神への渇望と義への渇望を示しています。彼は「キリストとその復活の力、その苦しみを分かち合う交わり、死において彼に似られるようになる」ことを求めています。(ピリピ人への手紙3:10 NIV)彼の神への一貫した従順は、彼の自己死を示しています(ヤコブによる手紙1:22-25)。神は言われています。「賢者は自らの知恵を誇るな。強者はその力を誇るな。富む者は富を誇るな。むしろ、これを誇る者はわたしを理解し知っていると自慢しなさい...」(エレミヤ書9:23,24)

2. 彼は空いている

機会があれば、神はあなたと一緒にいたいと願い、熱心に待っています。彼の都合がいることは、あなたとの関係を最優先にしていることを示しています。私たちはいつも、重要だと思うことに時間を割きます。キリストの弟子たちは仕事を辞めて神と共にいました。彼らの都合がその献身を証明しました。

3. 彼は従順である

彼は、神が壊れた霊以外を受け入れないことを悟ります(詩篇51:17)。彼の脆さと透明なコミュニケーションは、神とあなたへの信頼を示しています。彼の奉仕者としての愛は、あなたの成熟に対する服従と敬意を反映しています。もし彼があなたに仕えるなら、おそらくあなたの人です。パウロはオニシフォロスを高く評価していました。なぜなら彼はしばしばパウロをリフレッシュし、恥じることなく仕えていたからです(テモテ第二の手紙1:16-18)。

4. 彼は忠実である

彼はキリスト教への献身、日常的な責任、そして神への愛において一貫しています。「今、信託を与えられた者は忠実であることを証明しなければならない」(コリント人への第一4章2節(NIV))。神の霊は忠実さを非常に重視し、パウロにそれを誰が訓練すべきかを決める重要な要素とすることを促しました(テモテ第二2:2)。

5. 彼は弟子になることを目指す

彼は成熟したクリスチャンが他者を弟子として育てることに献身しなければならないと理解しています。彼は主にあって成長し、他者の中にキリストを複製することで神に栄光をもたらすことを望んでいます。

これら5つの基準は高すぎるように思えるかもしれません。しかし、受け取る質はあなたが求める基準によって決まります。平凡を受け入れれば、それがあなたの得られるものです。毎年、当院の取締役は新入社員の受け入れガイドラインを見直しています。基準を厳格化すると、候補者の質は必ず大幅に向上します。高い基準を設定することを恐れないでください。

熱心に祈りなさい

イエスは「...神に一晩中祈りを捧げた後に弟子たちを選びました」(ルカ6:12)。父はイエスに、衝動的なペテロ、すなわち「ケファ」と呼ばれる岩(ヨハネ1:42)の可能性を見る洞察を与えました。冷酷なナタナエルの背後には、「あの中に狡猾さのない者」の性格を見出しました(ヨハネ1:47)。弟子選びにおける神の導きは必須です。"...人は外見を見るが、主は心を見ます」(サムエル記上16:7)。誰かを誘い、自分自身に死を誘い、弟子関係に入ることは決してできません。イエスは「誰も私のもとに来ることはできない。私を遣わされた父が彼を引き寄せなければ...」と教えました。(ヨハネ6:44)人を弟子とし、キリストのような性格を他者に再現させるために備えられるのは神だけです。神ご自身が言われました。「...わたしが呼びかけた働きのためにバルナバとサウルを分けておきなさい」(使徒13:2 NIV)。キリストの弟子たちでさえ神から与えられたものです(ヨハネ17:6)。弟子を選ぶには勤勉な祈りが必要です。霊的指導者と共に、神が弟子にしてほしい人へ導いてほしいと願いなさい。

87-90ページ

ステップ6: *個人的な祈りの願いを共有し、それぞれがお互いの願いを祈り合います。*

出典:キース・フィリップス博士著『The Making of a Disciple』。フレミング・H・レヴェル社出版、1981年。ISBN 0-8007-1181-5。ロバート・E・コールマンによる序文。内容(勉強問題を除く)は本書から抜粋し、改訂は加えていない。

改訂20261012